

## 花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

# 花巻市の取組の概要

## 1. 人口ビジョン

### ◆花巻市人口ビジョン（平成 27 年 10 月策定）

平成 27 年 9 月の人口 99,135 人から 2040 年には 75,153 人、2060 年には 56,569 人まで減少すると推計

総合戦略の取り組みにより、2040 年には 82,600 人程度、2060 年には 73,500 人程度の人口を目指す

## 2. 花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略

第 1 期（平成 27 年 10 月策定） H27 年度 ~ R2 年度

第 2 期（令和 3 年 3 月策定） R3 年度 ~ R5 年度

◇4 つの基本目標 ◇11 の重点方針 ◇23 の施策の方針 ◇182 の事業から構成 ⇒ 花巻市人口ビジョンの達成を目指す

国の総合戦略	花巻市総合戦略		
	基本目標	重点方針	方針・事業
基本目標	① 花巻市にしごとをつくり、安心して働けるようにする ◆岩手県全体に占める本市の製造品出荷額等の割合 8.9% ◆観光客入込数（暦年） 212 万人 ◆農業者一人当たりの農業所得金額 2,326 千円 ◆求職者の就職率 52.0%	① 力強いものづくり産業の振興 ② インバウンドの推進と観光コンテンツの拡充 ③ 地域資源を活用した魅力ある農林業の推進 ④ 産業を支える労働力の確保	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	② 花巻市への新しい人の流れをつくる ◆社会増減数 285 人	① 移住・定住の推進 ② 移住者の就労支援と地元学生等の定着推進	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる ◆合計特殊出生率 1.66 ◆子育てしやすいまちだと感じる市民の割合 66.0%	① 結婚から出産のライフステージへの支援 ② 次代を担う子どもたちが健やかに育つための保育・教育環境の充実	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる ◆これからも花巻市に住み続けたいと思う 40 歳以上の市民の割合 90.0% ◆これからも花巻市に住み続けたいと思う 15 歳から 39 歳の市民の割合 88.0% ◆防災面で安全・安心であると考えている市民の割合 64.0%	① まちなか再生と利便性の高い快適な暮らしを実現する生活基盤の整備 ② 地域で学び、育ち、自主的に進めるまちづくり ③ 防災危機管理体制の充実	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

第 2 期総合戦略は花巻市まちづくり総合計画及び花巻市まちづくり総合計画第 3 期中期プランと整合性を図った

## (参考) 国の取組の概要

### 「まち・ひと・しごと創生法」 平成 26 年 11 月 28 日施行

(目的) 少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持するため、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。

### (1) まち・ひと・しごと創生長期ビジョン

#### ◆長期ビジョン (平成 26 年 12 月策定)

国立社会保障・人口問題研究所は、2060 年の総人口は約 8700 万人まで減少すると推計

2060 年に 1 億人程度の人口を維持と東京一極集中の是正等を目標とする



#### ◆長期ビジョン (令和元年度中改訂)

人口推計は時点修正

将来にわたって「活力のある地域社会」の実現と「東京圏への一極集中」の是正等を目標とする

### (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略

#### 第 1 期総合戦略 (平成 27 年 12 月策定) H27 年度～R2 年度

##### 4 つの基本目標から構成

#### ① 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

KPI: 地方における若者雇用者創出数、女性 (25～44 歳) の就業率等  
有識者会議において、「目標達成に向けて進捗している」と評価

#### ② 地方への新しいひとの流れをつくる

KPI: 東京圏から地方への転出入均衡等  
有識者会議において、「各施策の進捗の効果が現時点では十分発現するまでに至っていない」と評価

#### ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

KPI: 安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考えられる人の割合等  
有識者会議において、「各施策の進捗の効果が現時点では十分発現するまでに至っていない」と評価

#### ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

KPI: 立地適正化計画を作成する市町村数等  
有識者会議において、「目標達成に向けて進捗している」と評価

## (参考) 国の取組の概要

### ◆第2期総合戦略（令和元年度策定 令和2年末改定）R2～R6年度

#### 第2期における地方創生の目指すべき将来

##### ◇将来にわたって「活力のある地域社会」の実現

KPI：結婚・子育てに温かい社会の実現に向かって

いると考える人の割合 50%（2024年度）

※現状：45.2%（2019年）

##### ▶人口減少を和らげる

・結婚・出産・子育ての希望をかなえる

・魅力を育み、人が集う

##### ▶地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する

##### ▶人口減少に適応した地域をつくる

##### ◇「東京圏への一極集中」の是正

KPI：地方と東京圏との転入・転出を均衡（2024年度）

※現状：地方からの東京圏への転入超過数

146,578人（2019年度）

## 基本目標

### ① 稼ぐ地域をつくとともに安心して働けるようにする

- ◆地方における若者を含めた就業者増加数 100万人
- ◆女性（25～44歳）の就業率 82%

### ④ 地方へつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる

- ◆UIJターンによる起業・就業者数 6万人
- ◆公立高等学校において、「ふるさと教育」などの取組の推進方針を教育振興基本計画の中に位置付けている設置者の割合 100%
- ◆東京都外から東京都内の大学に入学した学生の割合が2019年度比で減少
- ◆関係人口の創出・拡大に取り組む地方公共団体の数 1000団体

### ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆第1子出産前後の女性継続就業率 70%
- ◆健康希望実績指標 80%
- ◆夫婦子ども数予定実績指標 95%

### ② ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- ◆市町村域内人口に対して、居住誘導区域内の人口の占める割合が増加している市町村数 評価対象都市の2/3
- ◆地域公共交通特定事業の実施計画の認定数 200件
- ◆地域連携に取り組む地方公共団体の割合 75%

## 横断的目標

- 新しい時代の流れを力にする
- ◆地域におけるSDGsの実現などの持続可能なまちづくり
- 多様な人材の活躍を推進する
- ◆多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
- ◆誰もが活躍する地域社会の推進

※計画期間を令和5年度から令和9年度までの5年間とした、新たな総合戦略「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定（令和4年12月23日閣議決定。）。